

口蹄疫を侵入防止しましょう

平成22年4月20日、宮崎県で口蹄疫の発生が確認され、5月6日までに牛、豚飼養農家合わせて23例目(計33,983頭)の発生が確認されています。

この病気は非常に感染力が強く、侵入防止のためには日頃の飼養・衛生管理を徹底することが大切です。

口蹄疫の侵入防止のため、次の事項をしっかりと守りましょう。

- 1 農場の出入り口には踏み込み消毒槽を設置しましょう。
- 2 農場を訪問する車や持ち込む器具等は必ず消毒しましょう。
- 3 関係者以外の農場への出入りは控えましょう。
- 4 飼養する家畜の健康観察は毎日行いましょう。
- 5 飼養する家畜に異常があれば、すぐに獣医師または最寄りの畜産事務所に連絡しましょう。

口蹄疫に関することや衛生管理に関することについては、最寄りの畜産事務所・家畜保健衛生所までお問い合わせください。

〈連絡先〉

西部畜産事務所・西部家畜保健衛生所(東広島市) TEL 082-423-2441

東部畜産事務所・東部家畜保健衛生所(福山市) TEL 084-921-1311(代表)

北部畜産事務所・北部家畜保健衛生所(庄原市) TEL 0824-72-2015(代表)

口蹄疫に対する消毒について

○ 消毒薬(消石灰, 炭酸ソーダ)の使用方法

1 消石灰(水酸化カルシウム)

消石灰は口蹄疫ウイルスに効果があります。
粉末状のものを、畜舎周辺や入口、通路等へ
散布します。

踏み込み消毒槽については、水10リットルに対し
粉末状の消石灰50gを溶解して使用してください。(消石灰は解けにくいので、一
部沈殿するが、気にせず上澄みを使用する)。

溶解後、密閉できる容器がある場合には、2日～1週間程度密閉保存可能で
す。密閉容器がない場合は、毎日作製してください。



2 炭酸ソーダ(炭酸ナトリウム)

炭酸ソーダは口蹄疫ウイルスに効果があります。

水1リットルに対し粉末状の炭酸ソーダ40gを溶解し、4%の液体にしてくださ
い。畜舎周辺や入口、通路等への散布や踏み込み消毒槽で使用します。

密閉等の容器での保存は必要ありません。

○ 参考(このデータは動物衛生研究所の試験結果に基づいたものです)

口蹄疫ウイルスに効果のある市販消毒薬及び希釈倍率

分類	製剤名	効果が認められた最高希釈倍数	承認されている希釈倍数
ヨウ素系消毒薬	クリンナップA	400	200～800
	動物用イソジン液 ^{※1}	1	1
	ファインホール	400	200～800
	ポリアップ3	400	400～1,000
	リンドレス	1,000	500～1,000
塩素系消毒薬	アンテックビルコンS	1,000	500～1,000
	クレンテ	2,000	300～3,000
	スミクロール	1,000	100～1,000
アルデヒド系	グルタクリーン	800	200～1,000
その他	アリバンド	200	200～1,000
	クリアキル-100 (0.1%NaOH添加)	2,000	500～2,000

※1 乳頭、外傷、手術部位等の消毒

逆性石けんは口蹄疫ウイルスに対して効果がありません。

口蹄疫ウイルスは強酸あるいは強アルカリで感染力を失うので、家庭用塩素系漂白剤や消石灰、炭酸ソーダで代用することが出来ます。